

小学部第*学年 算数科学習指導案

日時	令和4年**月**日（*曜日）9:40～10:25		場所	小学部*年*組教室
指導者	土田 拓馬（T1）、** **（T2）			
単元名	「くらべてみよう」			
本単元の目標	・身の回りにあるものの長さや測定の意味について理解し、長さについての感覚を豊かにするとともに、長さを比較する方法についての技能を身に付けることができる。 （知識及び技能）〈3段階〉 ・身の回りにあるものの長さに着目し、目的に応じて長さを比較したり、長さの長短及び相等関係を表現したりすることができる。 （思考力、判断力、表現力等）〈3段階〉 ・長さの違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。 （学びに向かう力、人間性等）〈3段階〉			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・身の回りのものの長さを比べる方法について理解し、比較している。	・身の回りのものの長さについて着目して、長さを比較したり、表現したりしている。	・長さの違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	
単元設定の理由	本グループは小学部*年生の男子6名で構成されている。太田ステージによる発達段階では、StageⅢ－1（前期）が1名、StageⅢ－2（前期）が1名、StageⅢ－2（後期）が1名、StageⅣ（前期）が2名、StageⅣ（後期）が1名である。実態として、興味・関心のある活動への意欲は高く、積極的に挙手することができる。特にゲーム的要素を含んだ活動や、興味のある具体物を使った学習に対して主体的に取り組む児童が多い反面、指名されないと気持ちが落ち込んでしまう児童や注目されることが苦手であまり発言できない児童がいる。算数科における実態として、繰り上がりのある足し算や一桁の引き算ができる児童、具体物や半具体物の操作を通して足し算ができる児童、指を使って数を数える児童など、実態は様々である。長さについては日常生活の中で「長い・短い」という言葉を聞いたり、使ったりしている児童が多く、二つのものを比べてどちらが長い・短いかを答えることができる児童がほとんどである。しかし、形状が異なるものの比較や長さが近いもの（長さの違いが明らかでないもの）の比較などは、直接比較の方法や長さの測り方についての理解が低いと正確に答えることは難しい。 本単元は、特別支援学校小学部学習指導要領の算数科の3段階の内容C「測定」のア「身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けるようにする。」に基づいている。この単元では、身の回りにあるものの長さを直接比較する活動を通して「長い・短い」の用語について理解し、長さを比べるときには端を揃えて比較する方法を学習し、ものの長さの概念や測定についての理解を深めることができる。 指導にあたっては、意欲的に取り組めるよう児童の身近なものを具体物として取り上げ、ゲーム的要素を含んだ活動を行ったり、手元で操作したりしながら長さの比較や測定をする学習を繰り返す。長さ比べることへの興味・関心を高められるようにする。ものの長さを比較する際の基本的な知識や技能として、端を揃えることやまっすぐ伸ばすことを「ピタ」や「ピーン」など児童が分かりやすい言葉で伝えるようにし、合言葉を手掛かりに比べたいものを自分で操作できるようにする。本時は鉛筆やひも、ロープなどを具体物として取り上げ、どれが一番長い・短いかを予想し、直接比較を行い、長い・短いを答えたり、長さに順番をつけたりする学習を行う。長さの正確な比較方法について考え、端を揃えることやまっすぐに伸ばすことなど、計測の基本について「ピタ」や「ピーン」の合言葉を押さえてから2つのグループに分かれて活動していく。 長さという言葉には距離や時間、大きさなどの意味があるが、本単元の学習を通して「長い」「短			

	い」「同じ」ものを見つけ、長さを比べる方法を考えることで、量（長さ）を捉える感覚を豊かにしたい。また、日常生活のいろいろな場面で「どっちが長い？」「どっちが短い？」と意識して会話の中で取り入れるようにし、長さに対しての興味・関心を高めていきたい。			
単元の指導計画 (時間) 本時は 第6時	次	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法
	「ながい・みじかい」	1、2 「どっちがながい？どっちがみじかい？」	2つの具体物や半具体物の長さを比べるクイズを行う。	長さの違う2つの具体物・半具体物を比べて長さの違いに気づき、答えている。 (知識・技能) [観察・発表]
	「ながさをくらべよう」	3、4、 「くらべてみよう」	具体物の操作を通して、どちらが長いかわかる方法を考える。	長さを比べる方法（端を揃える、まっすぐ伸ばす）について知り、比べようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) [観察・発表]
		5、⑥ 「ながさをくらべよう」 (本時)	複数の具体物の長さについて予想し、実際に操作して比べたり、長さに順番を付けたりする。	複数の具体物の端を揃える、まっすぐ伸ばすなど正確な方法で長さを比べ、長短を答えたり、具体物を長さ順に並べたりしている。 (知識・技能) [観察・発表] [ワークシート]
		7、8 「みじかなものをくらべてみよう」	Aグループ 身近なものの長さを紙テープで測り、いろいろなものと比べてみる。 Bグループ 身近なものの長さを比べてみる。	身近なものの長さに興味をもち、正確な方法で長さを比較している。 (思考・判断・表現) [観察・発表]

〔本時の指導〕

1 本時の目標

- ・正確な方法で長さを測り、比較することができる。 【知識及び技能】

2 児童の実態及び個別目標

① 「長い」「短い」の言葉の理解と長短比較

- ◎：「長い」「短い」の言葉の意味がわかり、身近なものから「長い」「短い」を比較できる。
- ：「長い」「短い」の言葉の意味がわかり、提示された具体物を見て比較することができる。
- △：「長い」「短い」の言葉の意味がわかり、言葉かけや具体物の操作を教師と一緒にやり比較することができる。

②比較する際の技能

- ◎：具体物の向きや端を揃える、まっすぐに伸ばすことに自分で気付いて比較することができる。
- ：具体物の端を揃えたり、まっすぐに伸ばしたりして比較することができる。
- △：言葉かけやイラストカードを提示することで具体物の端を揃えて比較することができる。

③比較した長さの表現

- ◎：具体物や半具体物を比較し、マス目いくつ分かで答えることができる。
- ：複数の具体物を長さ順に並べて答えることができる。
- △：2つの具体物を比べ、長い・短いを答えることができる。

児童 学年 (性別)	児童の実態			個別目標	自立活動の 目標
	①	②	③		
A *年 (男)	○	△	△	・ 具体物を教師と一緒に操作して比較し、一番長いものと短いものを答えることができる。 (知識及び技能)	
B *年 (男)	△	△	△	・ 具体物を教師と一緒に操作して比較し、長いものと短いものを指さして答えることができる。 (知識及び技能)	
C *年 (男)	○	○	△	・ 具体物を操作して比較し、一番長いものと短いものを答えることができる。 (知識及び技能)	
D *年 (男)	◎	○	○	・ 正確な方法で具体物を比較しようとし、長さの順番に並べることができる。 (知識及び技能)	
E *年 (男)	◎	◎	○	・ 正確な方法で具体物を比較し、長さをマス目いくつかで答えることができる。 (知識及び技能)	
F *年 (男)	◎	◎	○	・ 正確な方法で具体物を比較し、長さの差をマス目いくつかで答えることができる。 (知識及び技能)	

3 展開

※形態の表記は 全体：全、グループ：グ、個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て（各Ｔの役割等）※評価は□で囲む
全 1	1 始めのあいさつをする。	・姿勢を正すよう言葉かけしてからあいさつすることで、授業の開始を意識できるようにする。
全 2	2 本時の目標を確認する。 ながさ くらべしよう 本時の学習内容を確認する。 ① あいさつ ② くいず ③ ながさを くらべよう ④ こべつがくしゅう ⑤ ふりかえり	・本時の目標と学習内容を知ること、児童が見通しをもって授業に取り組めるようにする。またどの活動を行っているのか活動ごとに矢印を付けたり、終わった項目には花丸を付けたりして視覚的に分かりやすいようにする。
全 4	3 なにかかかれているかなクイズをする。 ・スライドを見て2問クイズに答える。	・パワーポイントで作成したスライドを使い、児童の好きなキャラクターやこれからの活動で使う物をクイズに出すことで、活動への意欲や興味を高めることができるようにする。 ・Ｔ１は児童がモニターに注目しやすいよう部屋を暗くする。 ・Ｔ１はＦにホワイトボードを自分で用意するよう伝えて準備を促し、解答を書くことができるようにする。 ・Ｔ２はＡ、Ｂに解答用ホワイトボードを用意し、解答を書くことができるようにする。
全 8	4 ながさを くらべよう。 (1) スライドと具体物を見て比較方法について確認する。	・パワーポイントで作成したスライドと具体物を使って今までの活動を振り返りながら、端が揃っていないものや曲がっているものの正確な測り方と比較方法について確認をして、これからの活動の見通しがもてるようにする。 ・端を揃えること「ピタ」やまっすぐ伸ばすこと「ピーン」の合言葉を使い、比較する際の方法を児童に分かりやすく伝える。

グ 12	(2) 個人目標「きょう がんばること」を決める。 - それぞれの個人目標を決め、一人ずつ発表する。 (3) 2グループに分かれ、長さ比べを行う。(配置図参照) ○T1グループ(一人一回ずつ行う) - 長さ比べをするひもの数を自分で決める。 - 決めた数だけ箱からひもを取り出す。 - 長さ比べを行い、順番に並べる。	B、A、Cは いちばんながいのは どれかこたえる - いちばんみじかいのは どれかこたえる F、E、Dは ながいじゆんに ならべる - みじかいじゆんに ならべる の二つから目標を選べるようにする。 - T1はB、A、Fが発表する際、手話や指差して発表できるように支援する。 - T1、T2は児童が所定の位置に自分で移動できるよう言葉かけする。 - T2はグループ活動で集中して学習できるよう移動式黒板を用意し、学習環境を整える。 T1グループ: F、E、D - 児童が箱からひもを1本ずつ取り出すことができるように支援する。 - Fには「長さを比べときの合言葉はなにかな？」と促すことで具体物を自分で操作して正しい長さの比較を行うことができるようにする。 - Eには「長さを比べときの合言葉はなにかな？」「順番に並べてみよう」と促して、具体物を自分で操作して正しい長さの比較を行うことができるようにする。 - Dには「曲がっているひもはどうしたらいいかな？」「長さを比べときの合言葉はなにかな？」と促して、教師と一緒に確認しながらひもを自分で操作し、正しい長さの比較を行えるようにする。また、「一番長いひもはどれかな？」「次に長いひもはどれかな？」と促し、ひもを順番に並べることができるようにする。 D: 正確な方法で具体物を比較しようとし、長さの順番に並べている。 (知識・技能) [観察・発表]
---------	---	--

	○ T 2 グループ（一人一回ずつ行う） ・ 3本のひもの長さ比べをする。 ・ 一番長いひもと一番短いひものを答える。	T 2 グループ： B、A、C ・ T 2 は B と一緒に合言葉を確認しながら具体物を操作した後、「長い（短い）のはどれかな？」と具体物を指さしながら質問し、指さして答えることができるようにする。 B：具体物を教師と一緒に操作して比較し、長いものと短いものを指さして答えている。 （知識・技能）〔観察・発表〕 ・ T 2 は A に「ピタッと揃えてみよう」と促し、具体物の操作を一緒に行うようにする。具体物を操作したあと「長い（短い）のはどれかな？」と具体物を指さしたり手話をしたりして質問し、答えることができるようにする。 A：具体物を教師と一緒に操作して比較し、一番長いものと短いものを答えている。 （知識・技能）〔観察・発表〕 ・ T 2 は C に「ピタッと端を揃えてみよう」と伝えて具体物の操作を促し、一緒に確認しながら自分で操作できるようにする。具体物を操作したあと「長い（短い）のはどれかな？」と質問し、答えることができるようにする。 C：具体物を操作して比較し、一番長いものと短いものを答えている。 （知識・技能）〔観察・発表〕 ・ T 1 と T 2 は活動の様子をタブレットで写真を撮り、振り返りの際に全体で確認できるようにする。 正確な方法で長さを測り、比較している。 （知識・技能） ・ F にマス目のある長さ比べのプリントを用意し、具体物をマス目いくつかで測ることができるようにする。「い
個 10	5 個別学習をする。 ・ プリント学習を行い、グルー	・ F にマス目のある長さ比べのプリントを用意し、具体物をマス目いくつかで測ることができるようにする。「い

	プ学習の復習をする。	くつ分違うかな？数えてみよう」と促し、長さの違いがいくつ分か答えることができるようにする。 F：正確な方法で具体物を比較し、長さの差をマス目いくつ分か答えている。 (知識・技能)〔観察・発表〕〔ワークシート〕 ・ Eにマス目のある長さ比べのプリントを用意し、具体物をマス目いくつ分かで測ることができるようにする。測る際は教師と一緒にマス目を指さししながら数え、答えることができるようにする。 E：正確な方法で具体物を比較し、長さをマス目いくつ分か答えている。 (知識・技能)〔観察・発表〕〔ワークシート〕 ・ Dにはイラストを見て長い・短いを答えるプリントと長さに順番を付けるプリントを用意し、本時の復習ができるようにする。 ・ B、A、Cにはイラストを見て一番長いもの、一番短いものに丸を付けて答えるプリントを用意し、本時の復習ができるようにする。
全 8	6 振り返りをする。 ・「きょうがんばること」を振り返り発表する。	・ T1はタブレット端末で撮った学習時の様子をモニターに映して、それぞれの活動を振り返ることができるようにする。 ・ T1は「きょうがんばること」と「本時の目標」について振り返り、達成できていたら称賛し、花丸を付ける。
	7 終わりのあいさつをする。	・ 次時の学習の見通しがもてるよう、次時の学習について説明する。

【板書計画】

グループがくしゅう

さんすう「くらべてみよう」

きょう がんばること

もくひょう

ながさ くらべをしよう

がくしゅう

1 あいさつ
2 くいず
3 ながさを くらべよう
4 こべつ がくしゅう
5 ふりかえり

写真

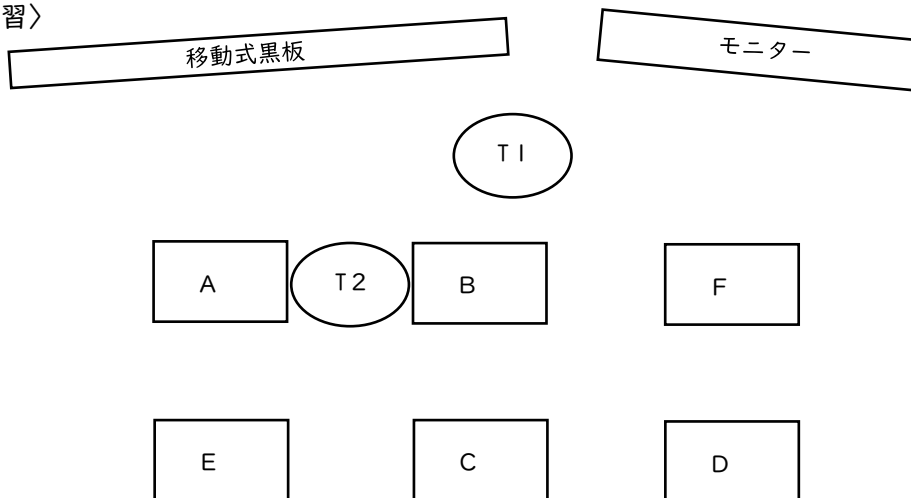
写真

写真

写真

【配置図】

〈全体学習〉



〈グループ学習〉

